

## V ミャンマーから来て、日本で学んだこと

コン セン ウェイ (Khun Sint Wai)

日本サード・パーティ株式会社

私はミャンマーから参りました  
コン セン ウェイと申します。ミ  
ャンマーのヤンゴン出身です。ミヤ  
ンマーの高等学校を卒業し、  
THANLYIN国立技術大学に入学しま  
した。国の大学では電子通信工学科  
で学びました。私の国では技術系  
は、卒業まで5年間を要します。私  
の学生時代では国の大学で実験する  
装置が足りないため、実験はほとん  
ど行われず、講義ばかりでした。

技術科目に関しては、実際にやっ  
てみないと分からないところがたく  
さんあるため、自分の国で勉強を続  
けるより海外で自分が興味を持つ電  
子技術を学び続けたほうが良いと考  
え、技術的に発展している日本へ来  
る決意をしました。日本を選んだ理  
由としては、日本は文化的にもミヤ  
ンマーと似ている部分もあり、国は  
敗戦から平和な国になり、自分が学  
びたい電気電子の技術についても先  
進国になっているため、日本で勉強  
を続けることにしました。それで大  
学に通いながら日本語を1年間勉強

し、日本語3級を取得して日本へき  
ました。

そこから、私の日本での生活が始  
まりました。日本に来た当初、学生  
生活をしているとき、始めて自分の  
生活費のため飲食店でアルバイトを  
しました。その時日本語がまったく  
分からなくて、お客様に注文された  
ものが何かさえも分からない状態  
でした。日本語学校に通いながら日  
本語を学んでいましたが、学校で学  
んだ教科書の日本語と日常会話に  
使う日本語がまったく違うため、な  
かなか聞き取れなくて戸惑ってい  
ました。そのため、日本人の友達を  
作って、日本語を話せるように頑  
張りました。

そのうち、アルバイト先でも先輩  
の日本人達とコミュニケーション  
が取れるようになりました。私は  
自分の目標を達成するためには、多  
少の困難があってもやり遂げるつ  
もりで頑張り続けました。そうして  
頑張ったことが私の目標を達成  
できるようにしてくれた、私の武器  
でした。

やがて、その力を持って頑張り続けたことで拓殖大学に入学でき、学びたい電子システム学科に入り、好きな科目について学ぶことができました。日本の大学はミャンマーの大学と違い、週に3回ぐらい実験があります。講義で学んだ内容をグループで実験するシステムです。グループの中でそれぞれの役割を分けて担当することです。実験を重ねることで、講義で学習したことをもっと深く理解できるようになりました。講義であまり理解できないものがあったても、実験を通じてシステム全体の意味が分かるようになりました。

学校のサークルに参加し、自分のコミュニケーション能力を高めるようにしました。その結果、就職活動するときにも会社関係の選考を受けるとき、チームワークでの行動に自分から進んで意見を出せるようになりました。現在、日本サードパーティ株式会社という情報技術サービス会社で働いていますが、入社後はもっとチームワークの大切さが分かるようになりました。

社会人になるといろいろな方と仕事することになり、コミュニケーション能力とチームワークの行動が本当に大事だと感じています。一番大

私が学んだことはチームワークです。日本では小学生ごろからチームワークに慣れるようにトレーニングされていますが、ミャンマーにはチームワークでの行動は弱いものです。小さい頃から一人だけで行動することが多かったため、チームワークより独立での行動がもっと強くなっています。私も大学で、グループで実験するとき、自分の意見がなかなか出せないときがありました。そこで始めてチームでの行動ができないと世の中に出て、活躍するのが難しくなることに気がつきました。そのためチームワークに慣れるように事なのはお客様に満足していただくため、お客様とうまくコミュニケーションを取れること。取れないと自分達の仕事も成功できないし、部門内に作られているチームワークがうまくいかないと組織の問題が出てくる可能性もあります。現在、私はIT技術のヘルプデスク要員として、自分の仕事を成功できるようにお客様とコミュニケーションを計り、自分のチームの先輩たち、同期たちにも相談しながら仕事が進められるように心掛けて頑張っています。私が日本で学んだ一番大切なことはチームワークです。

私が観察した日本はいろんな分野ですばらしく進歩し発展を遂げています。それだけに多少気になる面もあります。その1つは、社会人が家族と過ごす時間より仕事で過ごす時間の方が多いと思います。そのため、家庭内には家族と過ごす暖かさがどんどんなくなっているようにも見受けられます。自分の仕事で頑張りながら、自分の家族のためにも時間を作って幸せな家庭を持てるようにすれば、日本はもっと素晴らしい国になると思います。現在ミャンマ

ーにいる若者たちに伝えたいこととしては、自分の目標を立てること、その目標を達成できるため諦めず、前向きに頑張り続けること、自分ひとりだけ成功するためだけではなく、自分の周りの人たちにも成功してもらえるように、皆で力を合わせて進めて行けば自分たちの国も日本のように先進国の一つになれると思います、ミャンマーの若い皆さん、前向きで頑張ってください！！

( May 29,2015 )